

審査委員会による最優秀者及び次点者選定の経緯

●本コンペでは、以下に示すように審査を行った。

参加申込受付:83者

①事務局による提出書類の確認

参加申込通過者:83者

一次審査提出:67者

・公平な審査を行うため、審査委員会へは応募者の名前を伏せて掲示するとともに、作品番号は応募者に通知した[応募番号]ではなく新たに[掲示番号]として審査を行った。

【第一段階】

- ①1時間半の作品閲覧後、審査委員が各10票を持って投票。
- ②67者中、2票以上の獲得者が19者、1票の獲得者が22者。
- ③2票以上の獲得者については次段階へ通過決定。
- ④1票獲得の22者に投票した委員が支持理由を説明し、審査委員の合議により通過か落選か判断。

第一段階通過者:29者

【第二段階】

- ①29者について議論を交えながら提案作品を概評。
- ②概評終了後、審査委員が各5票を持って投票。
- ③29者中、2票以上獲得が6者、1票獲得が13者。
- ④1票獲得の13者に投票した委員が支持理由を説明し、審査委員の合議により通過か落選か判断。
- ⑤2票以上獲得の6者について、審査委員で議論。

第二段階通過者:10者

【第三段階】

- ①先程の議論を踏まえ、否定的な意見が少なく、比較的多くの委員の支持を得られている2者については一次審査通過決定。
- ②一次審査通過者として残りの3者を決定するため、8者について、審査委員が各3票を持って投票。
- ③5票獲得の2者と、4票獲得の1者を一次審査通過者とし、2票獲得の2者を補欠として選出。

一次審査通過者:5者(+補欠2者)

一
次
審
査

↓ ↓
一次審査通過者:5者(+補欠2者)

- ①事務局による資格要件の審査
- ②追加提出物の提出

ヒアリング対象者:5者

・プレゼンテーション・ヒアリングを行う第3回審査委員会当日に、初めて、審査委員会に対して応募者の氏名を公表した。

二
次
審
査

- ①審査委員会及び事務局による提案作品の特長や問題点、課題についての洗い出し、整理。
- ②プレゼンテーション・ヒアリングを実施。
- ③プレゼンテーション・ヒアリングを鑑み、審査委員の合議により1者落選。
- ④残り4者について、提案に対する認識を共有するという目的のもと、15分程度ずつ議論。
- ⑤各提案の課題、課題に対する今後の解決策、設計担当予定者や協力者などの状況を考慮しつつ、議論を重ね、最終的に最優秀者1者、次点者1者を審査委員会として選定。

最優秀者:1者 次点者:1者

最優秀者及び次点者を審査委員会から長岡市長へ推薦し、決定。